

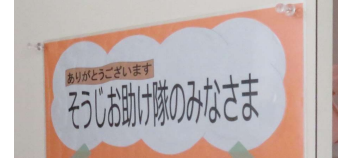
おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

2019. 2. 25 No.7

上道小に「そうじお助け隊」登場！

3学期から、お年寄りが子どもたちと一緒に掃除をする活動が始まりました。話を聞き、2月5日の第2回取材しました。



隅を掃くにはこのように



ぼくたちも頑張ろう！



「手伝うことない?」「うーん…」



はじめは微妙な距離が…



そのうち距離が縮まって



最後は見事な協働です！



卒業式に飾られる花だね



「しあわせの木」はいいね！

「お助け隊」の皆さんの話

子どもたちはひざをついて、廊下を横に拭いています。昔は縦方向に四つんばいで雑巾がけをしたものです。それで、自然に体が鍛えられた気がします。木の廊下をぬか袋で拭いてピカピカにしたのも懐かしいです。自分の母校を掃除できるなんて本当にうれしいです。

校区内の公園や道端にゴミや空き缶がたくさん落ちています。レジ袋に拾い集めるたびに「自分のまちにポイ捨てできますか？許せますか？」と言いたくなります。

地域と学校の協働で、まちを愛する子どもたちを育てたいと思います。



中央公園南側(2/8)

境小では「ありがとう集会」 2/13

あいさつ運動、下校時の見守り、読み聞かせ、放課後のお茶クラブ等でお世話になっている方々を招き、感謝の気持ちを伝える集会がありました。オープニングの全校児童による合唱は澄み切った歌声でした。最後に皆さんから「日本の文化を大切にしましょう」「多くの本と出合ってください」「あいさつで元気なまちにしましょう」「もっともっと交流を深めましょう」というお話がありました。

私は「傍楽」（はたらく）という言葉が好きです。はたを楽にする生き方、人を幸せにすることが自分の幸せという意味です。ボランティアの皆さんの表情に、改めて「傍楽」を思いました。



ずらりと並んだ皆さん



感謝状の朗読と贈呈



胸に輝く手作りメダル



もっと交流を深めましょう